

【家庭教育支援チーム】

チーム名 (呼称)	小山市家庭教育支援チーム (呼称:かざぐるま)
活動開始年度	平成21年度
活動拠点	小山市教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習係
活動範囲	小山市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<p style="text-align: center;">8 人</p> 家庭教育支援プログラム指導者研修 親学習プログラムコース修了者
具体的な活動内容	<input checked="" type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input checked="" type="checkbox"/> 総合型 <input type="checkbox"/> その他() 【活動内容】 ・定例会 月1回、チーム員が集まり、情報共有や、役割分担について相談。 併せて希望者がいれば、チーム員がお話をきく「おしゃべり会」を実施。 ・広報誌の作成・配布 家庭教育に関する情報誌「かざぐるま通信」を定期的に発行。 ・「親学習プログラム」の実施 就学時健診、5歳児健康相談、家庭教育学級、保育参観などの機会にチーム員が会場 へ出向きプログラムを実施。
活動の成果	・実施先の増加 「かざぐるま通信」の発行や、チーム員の口コミ、認定こども園への宣伝活動により、活動が徐々に周知され、市内小学校・義務教育学校の他、認定こども園等でも実施に協力していただける園が増えてきた。

活動において苦労した点や課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者の中に外国人が増加。様々な国籍や言語能力により対応が難しい。 ・「親学習プログラム」は本来90分のプログラムであるが、実際の実施時間は30分～60分程度が多い。 ・保育所では、保護者が集まる機会自体が少なく、保護者対象の親学習プログラム実施が困難。
今後の活動目標	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チーム「かざぐるま」の活動周知・宣伝。 ・現在は年中～年長の子の保護者を中心に「親学習プログラム」を実施しているが、機会があれば思春期の子を持つ保護者対象にプログラムを実施したい。
問合せ先	<p>(部署・氏名等)小山市教育委員会事務局 生涯学習課 家庭教育担当 (TEL)0285-22-9666 (E-mail)</p>